

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：青少年対策費

事業名 次世代リーダー養成推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

生活部 私学振興・青少年課 青少年係 電話番号：058-272-1111(内3039)

E-mail：C11151@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,190 千円 (前年度予算額： 3,961 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,961	0	0	0	0	0	265	0	3,696
要求額	4,190	0	0	0	0	0	265	0	3,925
決定額	4,190	0	0	0	0	0	265	0	3,925

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

近年、急速に国際化・情報化が進む中において、世界的な視野を持ち、考え、行動できる次世代のリーダーを育成するため、全国的な養成塾へ県内高校生を派遣するとともに、県内中学生対象の塾を開催する。

(2) 事業内容

- 「日本の次世代リーダー養成塾」派遣事業
世界的視野で活動できる次世代リーダーの育成を目的とする「日本の次世代リーダー養成塾」に、県内の高校生10名を派遣する。
日程：7月下旬～8月上旬の2週間
場所：福岡県、佐賀県
塾生：全国の高校生約170名
内容：専門講義(歴史、政治・経済、哲学他)、ディスカッション等
- 「ぎふ立志リーダー養成塾」開催事業
仲間とともに共同作業を通じて、次世代のリーダーが持ち合わせるべき資質を身につけるきっかけとする、中学生対象のリーダー養成塾を開催する。
日程：8月上旬の4日間
場所：トヨタ白川郷自然学校(予定)
塾生：生徒会役員等を担う県内の中学2年生及び3年生24名
内容：講義、グループワーク等

(3) 県負担・補助率の考え方

国際的な視野を持ち、考え、行動できるリーダーを養成することで、未来の岐阜県及び日本の活性化を目指す取り組みであり、県として必要な負担である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
「日本の次世代リーダー養成塾」派遣事業	1,370	派遣塾生選考委員謝金・費用弁償、塾負担金（1,000千円）等
「ぎふ立志リーダー養成塾」開催事業	2,820	講師謝金・費用弁償、プログラム委託料、会場・バス借上料等
合計	4,190	

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○第4次岐阜県青少年健全育成計画

- 基本方針 1 全ての青少年の健やかな成長と自立への支援
- 基本施策 2 自己実現のための支援
- (4) 次世代の人材育成

○第3次岐阜県教育ビジョン

- 基本方針 1 ぎふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成
- 目標 3 国際理解教育の充実とグローバルに活躍する人材の育成

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

青少年に対し、ビジョンメイキングやネットワーク形成力などリーダーに必要な資質を学ぶ場を提供することで、次世代を牽引するリーダーを養成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
/	/	/	/	/	/	/

○指標を設定することができない場合の理由

個人の資質、能力を高めることが目標であり、数値目標の設定になじまないため。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・オンラインで開催された日本の次世代リーダー養成塾に、県内の高校生6名を派遣した。参加者からは「将来の目標が明確になった」「自分がやらなければいけないことが分かった。」等の感想があり、次世代を牽引するリーダー養成を進めることができた。 （ぎふ立志リーダー養成塾は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。）</p>
令和 3 年度	<p>・福岡県で開催された日本の次世代リーダー養成塾に、県内の高校生10名を派遣した（途中でオンラインに切り替えて実施）。参加者からは「将来の目標が明確になった」「自分がやらなければいけないことが分かった。」等の感想があった。また、オンラインで開催したぎふ立志リーダー養成塾に、県内の中学生23名が参加した。参加者からは「同じ県内で志を同じくする仲間ができた」「リーダーとして活躍する方から多くのことを学んだ」等の感想があり、次世代を牽引するリーダー養成を進めることができた。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p>・福岡県で開催された日本の次世代リーダー養成塾に、県内の高校生6名を派遣した。参加者からは「将来の目標が明確になった」「自分がやらなければいけないことが分かった。」等の感想があった。また、白川郷で開催されたぎふ立志リーダー養成塾に、県内の中学生22名が参加した。参加者からは「同じ県内で志を同じくする仲間ができた」「リーダーとして活躍する方から多くのことを学んだ」等の感想があり、次世代を牽引するリーダー養成を進めることができた。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない	
(評価) 2	グローバル化が急速に進む中、次世代の青少年リーダーを養成することは、未来の岐阜県及び日本にとって必要性が高いものである。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない	
(評価) 2	卒塾生からは、塾開催直後はもちろん、年数を経てからのアンケートでも「参加が役立った」という回答があり、世界を舞台に活躍している者も多く、事業の有効性は高い。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている	
(評価) 1	「日本の次世代リーダー養成塾」については、負担金を負担して参画県になることにより、県単独では招聘できない世界的に活躍する講師陣等に触れる機会を県内高校生に優先的に提供することが可能となっている。 「ぎふ立志リーダー養成塾」については、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりオンライン開催となったが、事業内容に工夫をして、次世代のリーダー育成という目的を達成した。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 より多くの学校から参加していただけるよう、一層周知に努める必要がある。
--

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 卒塾生及びその保護者に好評であることに加えて、事業終了後に多くの卒塾生が活躍しており事業の必要性や有効性は高いことから、今後も継続して実施するとともに、実施後のアンケート結果等を踏まえ、プログラム内容や実施方法の更なる向上を目指す。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	